

村岡花子と「赤毛のアン」 の世界展

本を道しるべに、
少女たちのために

2014年
7月4日(金) ▶ 9月28日(日)

「赤毛のアン」の翻訳者として広く知られる村岡花子(1893-1968)。花子をモデルとしたNHK連続テレビ小説「花子とアン」放送によりその波乱万丈の生涯に注目が集まっています。村岡花子はミッション系の女学校で学びそこで得た知識と経験—特に読書体験—を自分自身の礎としました。そして自分の後に続く少女たちにもよき少女時代を過ごして欲しいと願いました。読書によって教養を高め、広い世界を知って欲しい。そのためには日本にも少女向けの佳作がもっとあって欲しい…。その思いが花子を翻訳の仕事に向かわせやがてロングセラー「赤毛のアン」へと結晶したのです。本展覧会では、本を通じて世の中を明るく照らそうと尽した村岡花子の仕事を「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」所蔵の史料よりご覧いただけます。また、松浦英亜樹による「赤毛のアンの手作り絵本」原画写真家吉村和敏によるプリンス・エドワード島の写真等も展示し「赤毛のアン」の世界を存分に堪能していただけます。

●講演会 村岡美枝(翻訳家)・村岡恵理(作家)
9月6日(土) 午後6時より約1時間
詳細と申し込み方法は美術館HPをご覧ください。

○特別協力 赤毛のアン記念館・村岡花子文庫
河出書房新社より「村岡花子の世界」刊行
★学芸員によるギャラリー・トーク
8月10日(日) 午後2時より約1時間

弥生美術館

〒115-0032 東京都文京区春日2-1-1 TEL.03-3812-0012
http://www.yayoi-yumeji-museum.jp



①大正9年1月26日の村岡花子 ②「赤毛のアン」原書と花子の翻訳原稿 ③「赤毛のアン」初版本(昭和7年) ④「赤毛のアンの手作り絵本」原画 松浦英亜樹/画

姉妹館：竹久夢二美術館と二館併せてご覧いただけます。



東京・
谷根千
レトロ散歩

交通◎東京メトロ千代田線根津駅 or 南北線東大塚駅共に徒歩7分
JR上野駅南口・しのばす口より徒歩20分 (東京メトロ丸の内線春日1丁目駅南口より徒歩10分)
※駐車場はございませんので、お車のお帰りはご遠慮ください。
※両館とも白がも加算で観覧いただけます。
※公式ウェブサイトより申し込みます。

休館日◎月曜日 ただし、7月21日(月・祝)開館、8月23日(火)休館
8月11日(月)臨時開館
9月15日(月・祝)開館、9月16日(火)休館
時間◎午前10時～午後5時(入館は4時5分まで)
料金◎一般900円 大学生800円 中小生400円
*高島華青の常設ルームも併せてご覧いただけます。